

# 目次

## [概要](#)

[メッセージが検疫から発表される時、それはどこで記録されますか。](#)

## [関連情報](#)

## 概要

この資料にメールを表示する方法をログオンします Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) または Cisco セキュリティ 管理 アプライアンス (SMA) の検疫から発表されるメッセージの開封を判別するために順序を記述されています。

## メッセージが検疫から発表される時、それはどこで記録されますか。

ESA、IronPort スпам検疫 (ISQ)、ポリシー検疫、か操作および関連イベントが IronPort テキスト メール ログ (mail\_logs) ファイルで報告される他のカスタム検疫からメッセージを発表する時。Log エントリはオリジナル MID と加入します。

これをトラッキングすることにアプローチする最もよい方法はから、に得るか、または検疫された元のメッセージのサブジェクトダウンしています。次に、検疫からリリースされたかどうか見、次に端メールサーバがそれを受け入れるか、または跳ねたかどうか見るログのそのための検索。

メールを検索する例は送信側「spam@test.com 用に」記録します:

メッセージID (MID) および配信接続ID (DCID) に注目したいと思います。

この特定の MID が完全な mail\_logs からのスパム検疫、かメッセージトラッキングに送信されたことを見る場合があります:

リリースされて、ISQ から発表されるメッセージで探すべきことの例は下記に:

この例では、メッセージは、インターフェイス発表され (接続する ESA のリスナーはに 192.168.0.199) あります (192.168.0.200) 最終的な配信端メールサーバとして。

スパム検疫ログ (euq\_logs) を検知する時、リリース操作は次を示します:

次に元のメッセージがポリシーに検疫を検疫したら、およびリリースされて、この例への類似したを見ます同様に:

ポリシー検疫から、メッセージはポリシー検疫およびインターフェイスから発表されます (接続する ESA のリスナーはに 192.168.0.199) あります (192.168.0.200) 最終的な配信端メールサーバとして。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [メッセージ ID \( MID \)、インジェクション接続 ID \( ICID \)、配信接続 ID \( DCID \) とは何か](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)